

令和7年度

事業報告書

社会福祉法人串間市社会福祉協議会

1. 法人運営事業

①会議関係

名称	期日	会 場	出席者数	内 容
理事会	R7. 6. 6	市総合保健福祉センター	9名	1 令和6年度事業報告及び収支決算について(監査報告) 2 令和6年度串間市共同募金委員会一般会計収支決算について 3 令和7年度社協会費募集(案)について 4 令和7年度共同募金実施計画(案)について 5 定款の一部変更について 6 評議員の選任報告について 7 評議員の推薦について 8 評議員会の招集事項(案)について 9 その他
評議員会	R7. 6. 24	市総合保健福祉センター	14名	1 令和6年度事業報告及び収支決算について(監査報告) 2 令和6年度串間市共同募金委員会一般会計収支決算について 3 令和7年度社協会費募集(案)について 4 令和7年度共同募金実施計画(案)について 5 定款の一部変更について 6 理事の選任について 7 その他
理事会	R7. 6. 24	市総合保健福祉センター	8名	1 会長、副会長の選任について 2 評議員選任・解任委員会の選任について 3 その他
臨時理事会	R7. 6. 26	市総合保健福祉センター	7名	1 会長、副会長の選任について 2 評議員選任・解任委員会の選任について 3 その他
理事会	R7. 10. 21	市総合保健福祉センター	9名	1 令和7年度1次収支補正予算(案)について 2 令和8年度予算要望(案)について 3 評議員会の招集事項(案)について
評議員会	R7. 11. 4	市総合保健福祉センター	19名	1 令和7年度1次収支補正予算(案)について 2 令和8年度予算要望(案)について
理事会	R7. 12. 3付 (決議の省略)			1 評議員の推薦について 2 評議員会の招集事項(案)について
評議員会	R7. 12. 19付 (決議の省略)			1 理事の補充選任について
理事会	R7. 12. 23	市総合保健福祉センター	10名	1 評議員候補者の推薦について 2 評議員会の招集事項(案)について
理事会	R8. 3. 11	市総合保健福祉センター	15名	1 令和7年度2次補正予算(案)について 2 令和8年度事業計画(案)について 3 令和8年度収支予算(案)について 4 令和8年度串間市共同募金委員会一般会計収支予算(案)について 5 役員等賠償責任保険契約について 6 評議員会の招集事項(案)について
評議員会	R8. 3. 27	市総合保健福祉センター	15名	1 令和7年度2次補正予算(案)について 2 令和8年度事業計画(案)について 3 令和8年度収支予算(案)について 4 令和8年度串間市共同募金委員会一般会計収支予算(案)について

②香典返し寄付金収入

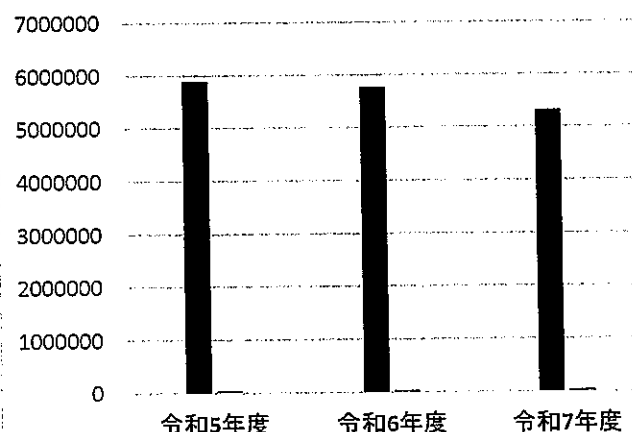
令和7年4月～令和8年3月

地区	件数	金額	平均額
福島地区	76	1,960,000	25,789
北方地区	26	785,000	30,192
大東地区	25	670,000	26,800
本城地区	22	585,000	26,591
都井地区	14	675,000	48,214
市木地区	9	205,000	22,778
その他	20	445,000	22,250
計	192	5,325,000	27,734

参考(過年度状況)

年度	件数	金額	平均額
令和5年度	207	5,893,000	28,469
令和6年度	195	5,770,000	29,590
令和7年度	192	5,325,000	27,734

香典返し寄付金年次別実績



2. 地域福祉推進事業

〔1〕 調査研究・企画広報・連絡調整等事業

①企画広報事業（社協情報誌の発行）

NO	発行年月日	内 容
177	令和7年7月1日	1 表紙題字の一般募集による紹介 2 社協イベントの報告（よかまち会議、都井地区みさき食堂、節句祭りinごんべえ、社協キッチン「コミュニティ食堂」、ふれあいいきいきサロン） 3 社協キッチンへのご寄附について（企業、団体、個人の紹介） 4 社協職員の紹介（新規職員の紹介） 5 令和6年度事業報告及び決算報告について 6 令和7年度資金収支予算について 7 共同募金の報告について 8 ご寄附のお礼について（香典返し及び一般寄附）
178	令和7年9月1日	1 市社協会長の交代のあいさつ 2 社協だよりの題字紹介（さくらさくら認定こども園児） 3 よかまちフェスの開催について 4 福祉体験学習について（北方小学校3年生） 5 シネマフリマの開催について 6 社協キッチン「コミュニティ食堂」の開催について 7 ご寄附の紹介について（個人、企業からの食材） 8 地域に咲く優しさの花について（市内の活動びと紹介） 9 令和7年度認知症多職種協働研修会の開催について 10 令和7年度認知症フォーラムの開催について 11 家族介護教室の開催について 12 令和6年度社協委員会費報告について（お詫びとお礼）
179	令和7年12月1日	1 キャンドルナイトinごんべえの開催について 2 社協だよりの題字紹介（福島小学校児童） 3 社協シネマ・フリマの開催について 4 都井地区生活支援サポーター「寄るかい」の活動紹介について 5 世界アルツハイマー月間の取り組みについて 6 西方地区認知症高齢者等見守り声掛け模擬訓練の開催について 7 令和7年度認知症フォーラムの開催について 8 社協キッチン「コミュニティ食堂」の開催について 9 日赤奉仕団活動報告について（本城班・市木班活動） 10 家族介護予防教室の開催について 11 ひなた運転健康教室の開催について 12 包括カフェ（サテライト相談）の開催について 13 ちょこっとボランティアについて（公式ラインについて） 14 フードポスト実績報告について 15 赤い羽根共同募金「テーマ型」募金について 16 ご寄附のお礼について（香典返し及び一般寄附）
180	令和8年2月1日	1 串間市社協のイメージキャラクターの紹介について 2 社協だよりの題字紹介（社協キッチン来場者） 3 福祉体験学習の実施について（市木小学校児童：高齢者疑似体験、アイマスク体験） 4 世代間交流事業「食物づくり」の開催について 5 令和7年度串間市各地区におけるサロン大会開催について 6 串間市民生委員児童委員協議会秋祭りパレードへの参加について 7 串間市民生委員児童委員協議会会長退任のあいさつ 8 串間市地域包括支援センターの取り組みについて 9 包括カフェ・ひなた運転健康教室・家族介護教室の開催について 10 社協キッチン「コミュニティ食堂」の開催について 11 ごんべえイベントについて（餅つき、クリスマスイベント） 12 串間市社会福祉法人等連絡協議会について 13 よかまちフェスについて 14 無料法律相談について 15 地域に咲く優しさの花について 16 令和7年度社協委員会費報告について 17 ご寄附のお礼について（香典返し）
181	令和8年3月30日	1 令和7年度串間市共同募金委員会実績報告について（寄付者紹介等） 2 社協だよりの題字紹介（社協キッチン来場者） 3 つながり活動の紹介について（コーヒーを楽しむ会、シニアの為のスマホ教室） 4 社協キッチン「コミュニティ食堂」の開催について 5 Youtube（ユーチューブ）はじめました 6 令和7年度第2回よかまちフェスの開催について 7 古民家ごんべえin漬物づくりイベントの開催及び地域に咲く優しさの花紹介について

SNS発信及び掲示板の活用

NO	内 容
1	メディアの活用 宮崎日日新聞：社会福祉協議会が展開する事業や企画等に関連した活動の取材を依頼し新聞を通じて地域にとどまらない情報の発信
2	社協インスタグラムと掲示板の活用 ○社協が展開する各事業の情報発信について ・社協キッチン「コミュニティ食堂」 ・食を通じてあらゆる世代が交流でき、地域コミュニティの活性化や孤食・孤立の解消貧困対策等にもつながる取り組み ・古民家再生活活用「ごんべえ@ななしるーむ」 ・地域住民や各種団体等の交流拠点とした居場所づくり（季節イベント、お祭り、研修や会議等） ・研修や教室等への取り組み ・認知症フォーラム、ボランティアフェスティバル、サロン大会、ひなた運転健康教室 よかまちフェス、家族介護教室、防災研修、小地域ケア会議

②連絡調整事業

1) 小地域単位での地域福祉活動に対する助成と推進（5地区・1校区社協の活動支援）

地区・校区社協名	設置年月日	主な活動内容
有明校区社協	平成7年11月	1 小地域助けあい活動事業の推進（サロン活動等）
北方地区社協	平成6年 2月	2 ふれあい活動（福祉バザー等）
大東地区社協	平成9年10月	3 高齢者等栄養改善料理教室
本城地区社協	平成5年10月	4 異世代間交流事業
都井地区社協	平成7年 6月	5 青少年の育成事業
市木地区社協	平成6年 8月	6 その他、各地区に応じた事業

○各地区・校区社協を拠点とした活動に伴う連携と協働

①総会等への参加（各事業における提案や検討、助言等の実施や会長並びに事務局との連携と共有）

②その他の会議（主としてサロン活動における共有や活動の場についての検討）

○各地区における支援体制構築に伴う協力依頼等

①各事業における取組の紹介及び連携体制の構築について

○高齢者の生きがい活動促進

①各地区における取組の紹介と介護予防の必要性等について

②活動継続のフォローと新規発足支援

2) 連絡会議の開催状況

会議名	開催日	内 容
地区・校区社協会長会	令和7年6月25日	1 令和7年度各地区・校区社協活動助成金について 2 地域づくりに向けた今後の取り組みについて ・重層的支援体制整備事業について ・各地区の取り組み等について（情報交換等）
有明校区社協	令和7年6月18日 （総会）	1 令和6年度地域におけるふれあい交流事業の実績について 2 令和7年度事業計画等について（ふれあい交流事業の充実等）
市木地区社協	令和7年6月19日 （総会）	1 令和6年度地域における各事業の取り組みについて 2 令和7年度事業計画等について（小地域助け合い事業やふれあい交流事業等）
大東地区社協	令和7年7月4日 （総会）	1 令和6年度地域における各事業の取り組みについて 2 令和7年度事業計画等について（小地域助け合い事業やふれあい交流事業等）
北方地区社協	令和7年6月27日 （総会）	1 令和6年度地域における各事業の取り組みについて 2 令和7年度事業計画等について（小地域助け合い事業やふれあい交流事業等）
本城地区社協	役員会 （随時）	・事業及び各イベントに関する役員会開催 （サロン代表者会、サロン大会や七夕イベントなど）
都井地区社協	令和7年 6月 （総会：書面審議）	1 令和6年度地域における各事業の取り組みについて 2 令和7年度事業計画等について（小地域助け合い事業やふれあい交流事業等）

3) 各種団体との連携及び要援護高齢者等の実態把握

○団体事務支援業務

1. 串間市民生委員児童委員協議会【令和7年度12月1日：民生委員児童委員一斉改選】

- ・市民児協理事会 13回（毎月第1木曜日） ※R7.12.1 臨時理事会
- ・各地区民児協定例会 12回（福島、北方、本城、大東、都井、市木） ※R7.12.1 臨時定例会

2. 串間市さんさんクラブ連合会

- 総 会 2回
- 理事会 1回
- 役員会 1回
- 研修・大会等 8回 県老連会議等 5回

3. ボランティア連絡協議会

- ・ボランティア連絡協議会 7回（総会：1回、理事会：4回、ボラフェス実行委員会：2回）
- ・市町村研修・役員会等 1回
- ・福祉教育連絡会 2回 県南ブロック役員会 1回
- ・みやざきボランティア 1回 " 研修会 1回
- ・県下一斉ボランティア推進事業 1回

4. 宮崎県串間市共同募金委員会

- ・赤い羽根共同募金 【募金期間：10月1日～3月末】
- ・歳末たすけあい募金 【募金期間：12月1日～12月末】

5. 日本赤十字社宮崎県支部串間市地区

日赤社資募集

青少年赤十字活動支援 6校（串間中学校、福島・金谷・都井・有明・北方小学校）

日赤奉仕団活動支援

総会 1回

役員会 2回

奉仕団班研修 2回 本城班（7月）・市木班（8月）

〔2〕総合相談事業

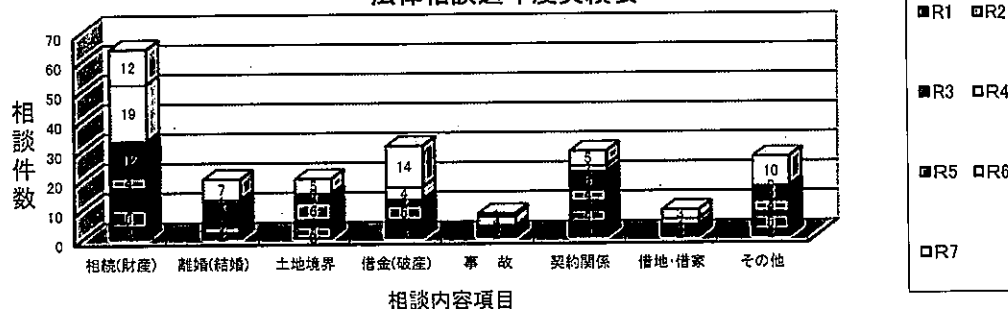
①相談内容及び実績

相談の種類	相談員	開設日数	相談件数	主な相談内容
法律相談	弁 護 士	12	29	相続、離婚、境界、借金など
一般相談	公証役場（公証人）	12	4	遺言・任意後見契約など

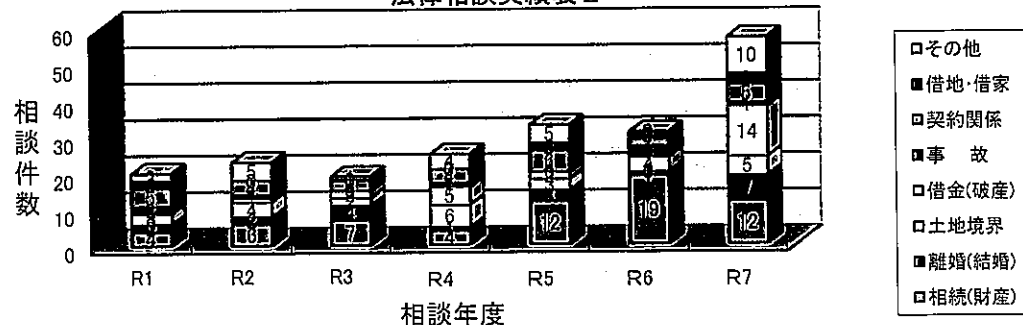
②法律相談内容内訳

年度	相 談 件 数 及 び 内 容								計
	相続(財産)	離婚(結婚)	土地境界	借金(破産)	事 故	契約関係	借地・借家	その他	
R1	4	2	0	3	2	5	2	2	20
R2	6	2	4	1	1	4	0	5	23
R3	7	4	2	2	0	3	0	1	19
R4	4	1	6	5	1	4	0	4	25
R5	12	3	3	2	0	6	2	5	33
R6	19	1	0	4	3	2	2	0	31
R7	12	7	5	14	1	5	3	10	57
計	64	20	20	31	8	29	9	27	208

法律相談過年度実績表



法律相談実績表Ⅱ



〔3〕生きがい活動推進事業

①ふれあいいきいきサロン事業 (R7年4月～R8年3月)

(1) 設置数及び実施地区

福島地区	本町1 中本西方 東下弓田 穂佐ヶ原	西小路1 西本西方 東今町	西小路2 上町 西今町	金谷 鹿谷 南今町	上塩 寺里 木代	東本西方 西下弓田 鍛冶屋	19区	15ヶ所
北方地区	串間 秋山	屋治 鯛取	古川 東上池②	徳間 田渕	東上池①	初田	9区	10ヶ所
大東地区	下新町 (休止) 三幸ヶ野 市ノ瀬4区	井牟田 中新町	揚原 三ヶ平	長野 市ノ瀬1区	古大内 市ノ瀬2区	上新町 市ノ瀬3区	13区	10ヶ所
本城地区	道場 仲	下千野 上南	下平 下南	上平 上中園	上千野 下中園	浦	11区	7ヶ所
都井地区	迫	東	立字津	宮ノ浦	宮原	黒井	6区	6ヶ所
市木地区	石原 郡司部	上石波 八ヶ谷	大藤 古都	木や藤 舳	中福良 平田	海北	11区	10ヶ所
	合 計						69区	58ヶ所

(2) サロン活動実施状況

月	実施ヶ所数	実施回数	延べ参加人員
4月	49	49	351
5月	49	49	341
6月	53	53	350
7月	50	50	304
8月	31	31	174
9月	50	50	300
10月	50	50	319
11月	45	45	271
12月	47	47	308
1月	47	47	291
2月	53	53	331
3月	54	54	363
合計	578	578	3703

(3) 地区別サロン大会開催状況

地区名	期日	会場	参加者	内容
福島地区	10月31日	市総合体育館	106	屋内ゲーム
北方地区	11月27日	串間市農村環境改善センター	57	屋内ゲーム
大東地区	10月18日	大東小学校体育館	61	屋内ゲーム
本城地区	11月21日	旧本城中学校体育館	65	屋内ゲーム
都井地区	11月8日	都井小学校体育館	52	屋内ゲーム
市木地区	11月29日	旧市木中学校体育館	80	屋内ゲーム
計			421	

〔４〕 ボランティアセンター事業

① ボランティアグループ登録状況（２７グループ・個人登録５名：合計１，１３３名）

No	団体ボランティア	会員数	結成年月日	主な活動内容
1	串間地区更生保護女性会	59	昭和39年 6月	犯罪予防活動や更生支援、子育て
2	串間市音声訳ボランティア「カナリヤ会」	13	平成元年 12月	広報誌の音声訳・録音・視覚障がい者への配送、朗読活動
3	福島高校インターアクト部	19	平成 4年 4月	環境美化活動、福祉施設訪問
4	串間市立串間中学校インターアクト部	17	平成 2年 4月	校区内環境美化活動、福祉施設訪問
5	串間市スポーツ少年団	182	昭和56年 4月	環境美化活動、募金活動
6	串間市食生活改善推進協議会	23	平成 3年 4月	生活習慣予防活動予防、健康づくり
7	NPOくしま健康倶楽部	10	平成 7年 4月	介護予防のための体力づくり出前講座
8	串間地区赤十字奉仕団	73	昭和43年 5月	炊き出し訓練、各種講習会（救急法等）
9	串間市点訳サークル「カンナ」	5	平成11年 4月	視覚障害者等へ点字による広報活動・福祉体験学習対応
10	ハッピーライフ110	3	平成11年10月	施設等へ友愛訪問活動、高齢者への生きがい支援
11	串間市立都井小学校みどりの少年団	23	昭和50年11月	環境美化活動
12	環境ボランティアグループ環の会	10	平成17年 5月	地球環境保全、自然環境保全
13	「話し相手ボランティア」連絡会	12	平成19年 9月	要援護者の訪問・話し相手
14	ぼくじゃの会	7	平成23年12月	まちづくりネットワーク、環境保全
15	大黒グループ・イルカランド	30	平成20年 4月	清掃美化活動
16	串間手話サークル イルカ	11	平成26年 5月	手話の勉強会、聴覚障害者との交流、通訳支援等
17	宮崎県防災士ネットワーク串間支部	33	平成24年 1月	防災訓練等の支援、災害発生時の活動支援・協力等
18	串間史談会	47	昭和51年 5月	県南の郷土史の研究、講演会の開催、郷土文化財の保存研究
19	福島コミュニティアンドスクールガード隊	38	平成18年 9月	朝夕の児童の登下校時の見守りとあいさつ運動
20	一般社団法人 ひかり	4	平成30年 3月	就労支援B型事業所運営。利用者と共にボランティア活動等への参加
21	NPO法人サード・プレイス	17	平成31年 1月	学校や地域住民と連携しながら環境美化（花いっぱい活動）などを行う。
22	バラ園と四季の花咲くこいの広場 秋山	3	平成26年 4月	バラ公園の整備と来場者へのおもてなし
23	にこにこクラブ地域ボランティアの会	15	令和 4年 2月	高齢者の見守りや子供達へのサポート、環境美化活動等
24	石波海岸 未来へつなぐ渚の会	19	令和 4年 2月	自然保護・環境美化活動
25	北方地区青少年育成協議会	9	昭和 58年6月	児童の登下校時の見守り活動
26	エンジェルハート	11	平成25年11月	ハンドベルと歌の練習を行い依頼に合わせて慰問演奏活動
27	チェリーピンク	11	令和 6年 6月	生涯学習発表会やボランティアフェスティバル等で披露。慰問活動
No	個人ボランティア	会員数	結成年月日	主な活動内容
1	各種ボランティア活動への参加	1	令和 2年 8月	市内で開催される様々なボランティア活動等への積極的な参加
2	環境美化活動や学校等との連携活動	1	令和 3年10月	環境美化活動や学校への雑巾等の無償配布
3	各種ボランティア活動への参加	1	令和 4年10月	市内全域において、環境美化活動やゴミ分別活動
4	各種イベントの参加等	1	令和 6年 9月	保護猫活動（周知・啓発）など
5	各種ボランティア活動への参加	1	令和 7年 4月	市内で開催される様々なボランティア活動等への積極的な参加
合 計		709		

② 串間市ボランティア活動費助成事業の実施

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> (1) 串間市スポーツ少年団 (2) 「話し相手ボランティア」連絡会 (3) 串間市食生活改善推進協議会 (4) 串間市点訳サークル「カンナ」 (5) 串間市音声訳ボランティア「カナリヤ会」 (6) 串間市立都井小学校みどりの少年団 (7) 串間手話サークル イルカ (8) 環境ボランティアグループ 環の会 (9) 宮崎県防災士ネットワーク 串間支部 (10) 串間史談会 (11) 福島コミュニティアンドスクールガード隊 (12) ハッピーライフ110 (13) にこにこクラブ地域ボランティアの会 (14) エンジェルハート (15) チェリーピンク (16) 串間市立串間中学校インターアクト部 (17) NPO法人サード・プレイス | <p>各地区沿道の美化運動、奉仕活動。</p> <p>市内の要援護者等を訪問し話し相手をする。（安心、孤独感の解消、事故・自殺防止）</p> <p>高齢者、男性、子ども、主婦を対象に料理教室を開催し、生活習慣病の予防、健康づくり。</p> <p>市広報・社協だよりを点訳し、視覚障がい者へ送付。一般図書等の点訳。</p> <p>視覚障害等へ広報誌等をテープに録音し郵送。</p> <p>都井岬に通づる国道の花壇整備や海岸の清掃。</p> <p>手話講座の開催と聴覚障害者への支援（通訳等）や福祉活動への参加。</p> <p>廃油キャンドルや灯籠づくり及びキャンドルナイトインくしまの開催。環境保全のための啓発活動。</p> <p>防災訓練の実施や協力、勉強会・定例会の開催や研修等への参加、地域リーダーの育成。</p> <p>郷土史研究。串間市文化発展を目的とした調査研究や「くしま史跡めぐりマップ」の修正増刷等。</p> <p>家庭や地域安全指導の推進。（安全パトロール、見届け、情報交換、啓発活動等）</p> <p>高齢者等への生きがい支援。（グラウンドゴルフ）</p> <p>地域内の見守り活動（子供～高齢者）や地域活動への支援。（環境美化・親子会支援）</p> <p>ハンドベルと歌の練習を行い依頼に合わせて慰問演奏活動等。</p> <p>生涯学習発表会やボランティアフェスティバル等で披露。慰問活動等。</p> <p>校区内環境美化活動、福祉施設訪問。</p> <p>学校や地域住民と連携しながら環境美化（花いっぱい活動）などを行う。</p> |
|--|--|

③ その他の事業

- みやざきボランティア体験月間2025
 - ・廃油キャンドルづくり体験（令和7年8月2日）：参加人数 17人
- 宮崎県市町村ボランティア活動支援事業
 - ・世界のクワカブ展：来場者人数 約150人
- 県下一斉ボランティア推進事業
 - ・弓田浜海岸清掃：参加人数 35人

④社会福祉推進指定校事業

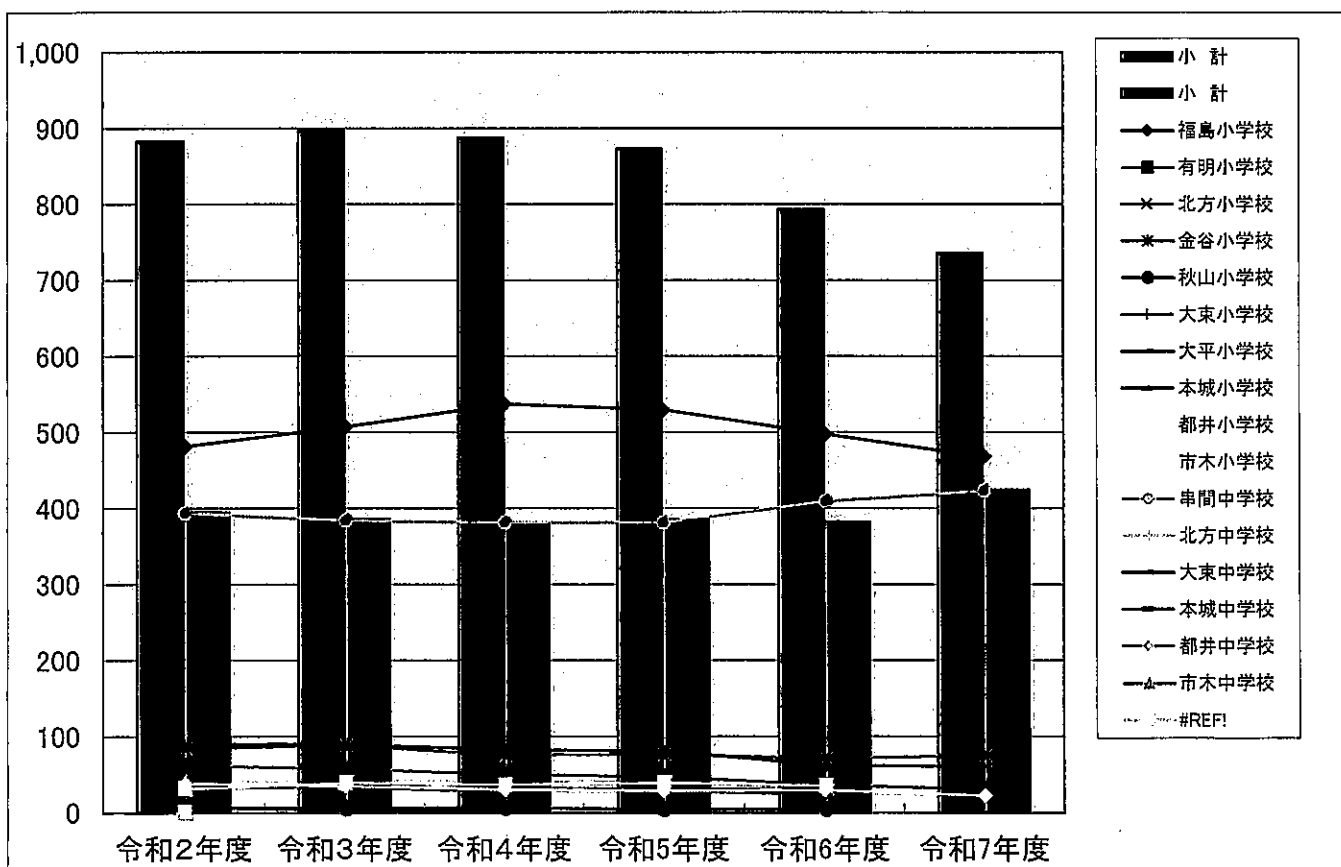
小学校、中学校、高等学校の児童・生徒を対象として社会福祉への理解と関心を高め、社会奉仕、社会連帯の精神を養うとともに、児童・生徒に社会福祉の向上に寄与しようとする実践能力を身につけさせることを目的とする。

(1) 指定校(9校)

学校名	児童・生徒数						指定期間
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
福島小学校	482	508	538	530	498	469	平成7年度から継続指定
有明小学校	63	58	51	48	37	32	平成7年度から継続指定
北方小学校	85	89	76	77	72	76	平成元年度から継続指定
金谷小学校	35	34	29	33	28	20	平成7年度から継続指定
秋山小学校	8	6	7	5	5		平成2年度から継続指定
大東小学校	91	90	83	81	63	61	平成7年度から継続指定
大平小学校	8	4	3				令和4年度をもって終了
本城小学校	40	32	32	30	24	23	平成3年度から継続指定
都井小学校	39	35	31	29	30	23	平成2年度から継続指定
市木小学校	32	40	37	40	36	31	平成4年度から継続指定
小 計	883	896	887	873	793	735	
串間中学校	394	385	382	382	410	424	平成29年度から継続指定(平成29年度から統合)
福島中学校							平成28年度をもって終了
北方中学校							平成28年度をもって終了
大東中学校							平成28年度をもって終了
本城中学校							平成28年度をもって終了
都井中学校							平成28年度をもって終了
市木中学校							平成28年度をもって終了
小 計	394	385	382	385	382	424	
合 計	1,277	1,281	1,269	1,258	1,175	1,159	

(2) 主な活動状況：高齢者等とのふれあい交流、施設訪問、環境美化活動、高齢者疑似体験

(3) 活動費助成【共同配分金：市社協指定小学校8校＝年間3万円、中学校1校＝年間5万円】



〔5〕地域支援（介護予防）事業 【R7年4月～R8年3月】

○介護予防教室（血圧測定、転倒予防・ストレッチ体操、室内ゲーム等）

	開催数	参加者 男	参加者 女	合 計	備 考
4月	49 教室	57 人	294 人	351 人	血圧測定、ストレッチ体操、脳トレ体操、頭の体操 リズム体操、手指体操、室内ゲーム、合唱、折り紙制作 手話でふるさと（紙芝居）、グラウンドゴルフ サロンdeキッチン、ボランティア慰問 ビジョントレーニング（跳躍眼球運動） 包括講話（周知・啓発） 健康講話（日常生活に関する事、身体機能等）
5月	49 教室	50 人	291 人	341 人	血圧測定、ストレッチ体操、カラオケ、指先体操 脳トレ体操、新聞紙でゴミ箱作り、グラウンドゴルフ ボール体操、棒体操、リンパマッサージ、合唱 熱中症予防について、リズム体操 認知症勉強会（認知症地域支援推進員） 法務局・人権擁護員による講話（日南法務局・人権擁護員）
6月	53 教室	52 人	298 人	350 人	血圧測定、棒体操、ストレッチ体操、脳トレ体操 認知症勉強会（認知症地域支援推進員）、手指体操 包括講話（周知・啓発）、七夕飾り製作、交通安全協会講話 新聞紙でゴミ箱作り、室内ゲーム、カラオケ、熱中症予防 グラウンドゴルフ、ビジョントレーニング（跳躍眼球運動） 健康体操講座（秀英会） 生活に関するアンケート（生活支援コーディネーター）
7月	50 教室	52 人	252 人	304 人	血圧測定、棒体操、ストレッチ体操、脳トレ体操 手指体操、包括講話（周知・啓発）、朗読会、 交通安全協会講話、室内ゲーム、カラオケ、熱中症予防 グラウンドゴルフ、ビジョントレーニング（跳躍眼球運動） 健康体操講座（秀英会） 生活に関するアンケート（生活支援コーディネーター）
8月	31 教室	27 人	147 人	174 人	血圧測定、ストレッチ体操、脳トレ体操、リズム体操 包括講話（周知・啓発）、交通安全協会講話、室内ゲーム カラオケ、熱中症予防、世代間交流（保育園学童） グラウンドゴルフ、ビジョントレーニング（跳躍眼球運動） 認知症勉強会、健康体操講座（秀英会） 生活に関するアンケート（生活支援コーディネーター）
9月	50 教室	50 人	250 人	300 人	血圧測定、ストレッチ体操、脳トレ体操、手指体操、棒体操 包括講話（周知・啓発）、交通安全協会講話、室内ゲーム カラオケ、熱中症予防、季節のカレンダーづくり グラウンドゴルフ、ビジョントレーニング（跳躍眼球運動） 認知症勉強会、健康体操講座（秀英会） ボランティア慰問
10月	50 教室	53 人	266 人	319 人	血圧測定、頭の体操、肩甲骨ストレッチ、脳トレ体操 骨粗鬆症予防について、包括講話、カラオケ、グラウンドゴルフ、 交通安全協会講話、室内ゲーム、外出支援、健康体操講座
11月	45 教室	52 人	219 人	271 人	血圧測定、頭の体操、レシビ紹介、脳トレ体操、ストレッチ体操 操、包括講話、認知症勉強会、カラオケ、グラウンドゴルフ、 交通安全協会講話、室内ゲーム、耳つぼマッサージ、ヒート ショックについて、寒暖差について、感染症対策
12月	47 教室	44 人	264 人	308 人	血圧測定、頭の体操、脳トレ体操、ストレッチ体操、包括講 話、グラウンドゴルフ、室内ゲーム、交通安全協会講話、カラ オケ、口腔体操、折り紙でポチ袋作成、耳つぼマッサージ
1月	47 教室	47 人	244 人	291 人	血圧測定、頭の体操、脳トレ体操、ストレッチ体操、棒体操、 健康体操講座（秀英会）、室内ゲーム、グラウンドゴルフ、 ヒートショック・感染症予防対策について、健康・栄養指導、 カラオケ、包括講話（周知・啓発）
2月	53 教室	63 人	268 人	331 人	血圧測定、頭の体操、脳トレ体操、棒体操、口腔体操 早口言葉、季節の歌合唱、唾液腺マッサージ、包括講話 グラウンドゴルフ、自律神経のマッサージ、寒暖差について、 健康体操講座（秀英会）、ボランティア慰問（チェリーピン ク）
3月	54 教室	61 人	302 人	363 人	血圧測定、頭の体操、脳トレ体操、棒体操、口腔体操 春バテについて、グラウンドゴルフ、自立神経のマッサージ、 都農町視察、交通安全協会講話、カラオケ、レシビ紹介、ラジ オ体操、健康体操講座（秀英会）、室内ゲーム
合 計	578 教室	608 人	3095 人	3703 人	

〔6〕日常生活自立支援事業『あんしんサポートセンター』

○事業の目的

日常生活自立支援事業は、認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等に対し福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理などの援助を行うことにより、在宅での自立した生活を送ることを支援するものである。

○事業の仕組み

宮崎県社会福祉協議会（実施主体）⇒ 市町村社協に業務の一部を委託

①業務内容（相談受付、相談者の調査、判断能力の評価、支援計画策定および評価と見直し、支援員の登録と派遣、援助活動の監督、契約の締結）

②相談の体制づくり（相談窓口を有する専門機関や他制度等との連携など）

③支援者、関係機関の協力体制づくり（ネット、情報の提供と共有）

i 職員配置状況

専門員	常勤	正規職員	1名	計 3 名
生活支援員	非常勤	パート職員	2名	

ii 事業実施状況

①相談援助件数（問い合わせ・相談援助）

令和7年4月～令和8年3月

内容 事項／対象者	本事業の利用に関するもの					合 計
	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	不明 その他	その他	
a. 問合せ件数 （制度、事業について）	0	0	0	8	0	8
b. 初回相談件数 （初回相談受付）	1	1	1	4	0	7
c. 相談援助件数 （a b以外）	177	363	292	278	0	1,110
合 計	178	364	293	290	0	1,125

②契約件数等

事項／対象者	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	その他	うち 生活保護	合 計
R6年度末の実利用者数	3	8	7	3	5	21
R7年度新規契約者数	2	1	3	2	2	8
①自 宅	0	1	1	2	1	4
②施 設	1	0	0	0	0	1
③病 院	1	0	0	0	0	1
④グループホーム	0	0	2	0	1	2
R7年度解約者数	2	0	1	1	0	4
R7年度末の実利用者数	4	9	9	3	7	25

内容 事項／対象者	契約者支援回数					合 計
	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	不明 その他	その他	
支援回数	73	122	171	124	0	490

③利用料（利用者負担）

I 利用料金	1回1時間まで1,400円。（それ以降は30分ごとに700円を加算） ※生活保護費受給者の利用料は、公費助成があるため無料となる。
II 交通費	原則、実費とするほか次による。 ア. 自家用車、バイク利用の場合は1kmあたり15円を支給。 イ. バス等の公共交通機関利用の場合は、当該区間の費用とする。

〔7〕生活福祉資金等貸付事業

●たすけあい金庫貸付事業【市社協】

①目的

この事業は、低所得世帯の臨時的な緊急出費に対し、早急の資金の貸付を行い、その世帯の経済的自立と生活意欲の助長促進を図ることを目的とする。

②貸付対象

たすけあい金庫の貸付対象となる世帯は、市内に6ヶ月以上居住する低所得世帯とする。

③貸付の種類

- (1) 生活費（生活費の一時立替に要する経費）
- (2) 冠婚葬祭費（冠婚葬祭に要する経費）
- (3) 医療費（医療または出産に要する経費）
- (4) 就職・生業費（就職・生業に要する経費）
- (5) 教育費（子弟の教育に要する経費）
- (6) 災害援護費（災害の応急措置に要する経費）
- (7) 住宅費（住宅の補修等に要する経費）
- (8) その他（特に緊急を要する経費）

④貸付金の限度額 【一世帯につき2万円以内】

⑤貸付状況

年度別	貸付件数	貸付金額	償還金額	償還内訳		過年度内訳	
				現年度分	過年度分	①前年度分	①以前の分
平成30年度	4	80,000	135,000	37,000	98,000	76,000	22,000
令和元年度	12	240,000	115,000	65,000	50,000	28,000	22,000
令和2年度	6	120,000	163,000	50,000	113,000	98,000	15,000
令和3年度	9	170,000	192,000	127,000	65,000	30,000	35,000
令和4年度	8	160,000	69,000	30,000	39,000	36,000	3,000
令和5年度	0	0	24,000	0	24,000	24,000	0
令和6年度	0	0	35,000	0	35,000	0	35,000
令和7年度	3	60,000	11,000	0	11,000	0	11,000

●生活福祉資金貸付事業【県社協】

①目的

資金の貸付と必要な相談支援を行い、安定した生活を送れるようにすることを目的とする。
本事業は、宮崎県社会福祉協議会と借受人・連帯保証人が契約を結ぶことになりその相談窓口を市町村社協が行います。（申請手続き業務）

令和5年度	決定件数：0件	貸付決定金額：0円
令和6年度	決定件数：4件	貸付決定金額：2,870,000円
令和7年度	決定件数：0件	貸付決定金額：0円
	延べ貸付件数：0件	合計金額：0円

月別貸付決定状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
件数	0	0	0	0	0	0	0
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	0	0	0	0	0	0	0

◇共同募金配分事業

【一般配分事業】

①高齢者福祉活動事業

- (1) 在宅寝たきり高齢者等おむつ配布

配布月【6月:140名・9月:142名・12月:142名・3月:142名】

②障がい者福祉活動事業

- (1) 串間市よつば会
- (2) 芽立ちの会
- (3) 障がい児・者父母の会 オリーブ

③児童青少年福祉活動事業

- (1) 福祉推進指定校助成 計9校（福島、有明、北方、金谷、大東、本城、都井、市木、中学校）
- (2) 串間市スポーツ少年団育成費助成
- (3) 福島地区青少年育成協議会事業費助成

④ボランティア活動や総合的な福祉活動事業

- (1) 広報費

〔8〕串間市社会福祉協議会緊急用食糧等給付事業

●フードバンク事業

当事業は、経済的困窮等により緊急且つ一時的に食料等の確保が困難となり、生命の危機に至る恐れが懸念される状態の場合に、串間市社会福祉協議会と本事業に参画する市内の社会福祉法人が食料品等の現物を給付し、生活再建に向けた支援を協働して実施することを目的とする。

フードバンク事業年度別実績

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
4月	1	0	6	3	3
5月	0	3	2	2	0
6月	4	3	0	0	0
7月	1	1	0	0	1
8月	2	4	2	1	0
9月	5	2	0	1	2
10月	6	0	0	2	1
11月	0	6	0	2	1
12月	3	3	0	0	0
1月	0	2	0	2	1
2月	1	1	1	2	0
3月	0	5	1	0	0
合 計	23	30	12	15	9

●フードポスト事業【令和6年8月～】

当事業は、家庭で眠っている食料や消費しきれずに余っている食料品を寄付して頂き、必要な家庭に配布することを目的とする。（食品ロス削減）

※フードポスト設置箇所：串間市役所本庁、総合保健福祉センター、図書館

	寄付の数	配布の数	配布先	主な食料品
令和7年度	1,325	898	①こども②障がい③困窮 ④その他コミュニティ食堂	レトルト食品、インスタント食品、お菓子、そうめん、お米など

●みやざき安心セーフティネット事業《宮崎県社会福祉協議会より指定を受けた社会福祉法人》

社会的孤立や経済的困窮を背景にした生活困窮者等に対し、逼迫した状況にある場合における現物給付による支援を実施し、生活困窮者等の自立を支援することを目的とする。

当事業は、社会福祉法人による自主的な社会貢献の取り組みであり、参加する社会福祉法人（施設）からの会費をもって基金を設置し、相談や経済的援助（現物給付）を行っている。（事業基金設置：県社協）

○セーフティネット事業連絡会の開催：令和7年9月24日【社協、行政、加盟法人施設】

みやざき安心セーフティネット事業年度別実績

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
4月	0	0	0	0	0
5月	1	1	0	0	0
6月	0	0	1	0	1
7月	0	1	0	0	0
8月	0	0	0	0	0
9月	1	0	0	1	0
10月	1	0	1	0	1
11月	0	0	0	0	1
12月	0	1	0	0	0
1月	1	0	0	0	1
2月	0	0	1	0	0
3月	0	1	0	0	0
合 計	4	4	3	1	4

※事業指定法人（本市における加盟施設）

1	社会福祉法人	黒潮会【寿楽園】・【望洋の郷】・【めぐみの郷】
2	社会福祉法人	深緑会【さつき園】
3	社会福祉法人	幸寿会【幸寿園】
4	社会福祉法人	むつみ会【げんきの森】

※経済的援助の期間と支援限度額について

○支援期間・・・概ね3ヶ月以内とし、これを超える期間の支援が必要と思われるときは、県社協と協議する。

○支援限度額・・・上限10万円。なお、支援額は加盟法人施設の長の判断により決定する。

3. 介護保険事業

【総合事業・通所介護事業・食の自立支援事業・配食サービス事業】

■通所介護事業及び日常生活支援総合事業

○総合事業対象【要支援1・2、事業対象者】

○地域密着型対象【要介護1～5】

	総合事業		通所介護		合 計	
	利用人員	延べ回数	利用人員	延利用回数	利用人員	利用回数
4月	21	121	6	58	27	179
5月	23	143	7	66	30	209
6月	23	145	7	56	30	201
7月	22	143	8	64	30	207
8月	22	117	9	63	31	180
9月	21	142	8	71	29	213
10月	21	143	9	83	30	226
11月	20	116	10	72	30	188
12月	18	106	12	103	30	209
1月	17	100	12	93	29	193
2月	18	101	11	87	29	188
3月	18	114	12	109	30	223
合 計	244	1,491	111	925	355	2,416

■食の自立支援（要介護者）及び配食サービス（要支援、自立者）事業実績（市木地区）

対象者【要支援認定者、総合事業対象者及び要介護認定者】

	食の自立支援事業		配食サービス事業		実績合計
	利用人員	延べ配食数	利用人員	延べ配食数	
4月	5	93	7	66	159
5月	5	92	9	84	176
6月	5	88	9	77	165
7月	4	75	10	105	180
8月	4	54	9	78	132
9月	3	62	9	102	164
10月	5	88	9	114	202
11月	5	74	9	100	174
12月	6	76	9	94	170
1月	5	75	8	90	165
2月	5	75	8	91	166
3月	5	82	8	100	182
合 計	57	934	104	1,101	2,035

■通所介護事業（通所介護・総合事業）月別実績表

月	事業対象者		要支援1		要支援2		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		合 計 人 数	合 計 回 数
	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数		
4月	11	52	2	9	8	60	4	45	2	13	0	0	0	0	0	0	27	179
5月	12	57	2	9	9	77	5	50	2	16	0	0	0	0	0	0	30	209
6月	11	60	2	8	10	77	5	43	2	13	0	0	0	0	0	0	30	201
7月	11	57	2	10	9	76	5	49	3	15	0	0	0	0	0	0	30	207
8月	10	45	3	11	9	61	5	40	4	23	0	0	0	0	0	0	31	180
9月	10	60	3	14	8	68	5	49	3	22	0	0	0	0	0	0	29	213
10月	10	61	3	12	8	70	5	52	4	31	0	0	0	0	0	0	30	226
11月	10	52	3	9	7	55	5	41	5	31	0	0	0	0	0	0	30	188
12月	8	38	3	12	7	56	7	69	5	34	0	0	0	0	0	0	30	209
1月	7	36	3	12	7	52	7	63	5	30	0	0	0	0	0	0	29	193
2月	7	35	4	16	7	50	7	64	4	23	0	0	0	0	0	0	29	188
3月	7	36	4	19	7	59	7	75	4	28	1	6	0	0	0	0	30	223
合計	114	589	34	141	96	761	67	640	43	279	1	6	0	0	0	0	355	2,416

4. 生活支援体制整備事業

○事業の目的

単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加する中、医療・介護のサービス提供のみならず地域住民に身近な存在である市町村が中心となって、NPO法人、民間企業、協同組合、ボランティア社会福祉施設、社会福祉協議会、地縁組織、介護サービス事業所、シルバー人材センター、老人クラブ、商工会、民生委員・児童委員等の生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加推進を一体的に図っていくことを目的とする。

○実施内容

生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）の配置

- ・高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進していくために、生活支援等サービスの提供体制構築に向けてコーディネート機能を有する者の配置。

協議体の設置

- ・生活支援等サービスの体制整備に向けて、多様な主体の参画が効果的な取り組みにつながるため市町村が主体となってコーディネーターと生活支援等サービスの多様な提供主体が参画する定期的な情報の共有・連携強化の場を設置することにより、多様な主体間の情報共有及び連携・協働による体制整備を推進する。

（協議体の構成団体は行政機関、地域包括支援センター、コーディネーター、社会福祉協議会、社会福祉施設、NPO法人、地縁組織、ボランティア団体等である）

○活動実績

実施項目	内容
1. 資源（ニーズ把握）	○サロン会への訪問（ニーズ調査等による地域課題把握等） ○地域住民におけるコミュニティーの場への訪問及び情報発信 ○地区校区社協会長会の場を活用した意見交換会 ○地区・校区社協や地域連携組織など既存組織との連携強化（総会や役員会等への積極的な出席及び取り組みへの参加） ○金谷地区、黒井地区防災に関する取り組みについての実態調査と生活課題の調査 ○健康づくりに対する取り組みについて実態調査
2. 資源開発	○市木地区買い物支援サービスの実施（月1回） ・サービス利用者延べ人数：34人 ・生活支援サポーター等の活用と地区民児協との連携及び協力依頼 ○新規サロン会立ち上げ支援及びサロン会継続のためのフォロー（高齢者の社会参加及び生きがい活動促進） ○ボランティア団体との連携・活動の周知啓発による活動へのつなぎ ○社会資源一覧表の改訂版発行 ○福祉教育の実施 *小学生を対象とした体験型学習（高齢者疑似体験等） ○地域との連携 ・地域における支援体制づくりに関連した協議体（支え合い会議）の開催（都井、本城、金谷地区よかまち会議（座談会）の開催） （よかまちフェスの開催）
3. ネットワーク構築	○行政や関係機関等との連携、情報共有 ○ボランティアとの連携、情報共有 ○地縁組織（自治会、地区社協、地域連携組織等）との連携、情報共有 ○ケア会議への出席（社会資源等の情報提供など）
4. ニーズと取組のマッチング（地域課題とサービスの調整）	○市木地区買い物支援サービス ・ニーズ把握と関係者間の情報共有及びサービス利用者の選定 ・担い手の確保（付き添いボランティア） *地区民生委員児童委員や生活支援サポーターとの連携 *地域既存組織との連携 ○移動スーパー利用に伴う関係者との連携と対応 ・移動スーパー利用へのつなぎ ○ボランティア活動など各種問合せに関する対応と関係機関・団体との連携 ○ケア会議等への出席により、地域課題の把握と社会資源等とのマッチング ○金谷地区ニーズ調査に伴い、生活課題の共有と協力依頼

5. 認知症地域支援・ケア向上事業

○事業の目的

認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、認知症の容態の変化に応じ、全ての期間を通じて必要な、医療・介護及び生活支援を行うサービスが有機的に連携したネットワークを形成し、認知症の人に対して効果的な支援が行われる体制を構築する。

○実施体制

認知症地域支援推進員の配置

○認知症地域支援推進員の業務内容

- ・地域において認知症の人を支援する関係者（医療・包括・認知症サポーター等）との連携（地元医師会や認知症サポート医、認知症疾患医療センターの専門医等）
- ・認知症ケアパス（認知症ガイドブック）の作成・普及
- ・認知症地域支援推進員を中心に地域における認知症の人とその家族を支援する相談支援や支援体制の構築をするための取組を行う（「認知症初期集中支援チーム」との連携と調整）
- ・病院、介護保険施設等における認知症対応力向上を図るための支援や地域密着型サービス事業所等での在宅生活継続の為に相談・支援、認知症の人の家族に対する支援（認知症カフェ等）、認知症ケアに携わる多職種協働の為に研修等

○事業実績

講座・研修名	参加者数	備 考
①認知症サポーター養成講座	92名	10月9日（木）：福島小学校5年生受講
②市民講座（認知症勉強会）	58名	サロン会【計9回開催】
③認知症の人と暮らす家族の集い	57名	計10回開催：第4木曜日 13：30～『道の駅くしま市民交流館』
④オレンジカフェ	335名	本城地区10回開催293名：第3火曜日14：00～ 都井地区3回開催24名：第3木曜日13：00～ ※1月より休止 北方地区3回開催18名：第2月曜日13：30～ ※6月より休止 ○全地区互助輸送を活用
⑤認知症高齢者等見守り声掛け模擬訓練	23名	開催日：令和7年9月12日（金）14：00～ 西方地区で開催 ○実際コースに出て、認知症高齢者の発見から対応、認知症高齢者等見守りシールを携帯で読み取る訓練を実施。その後グループワークを行う
⑥認知症ケアパス（認知症ガイドブック）		・令和7年度版作成・発行 各地区支所、市内医療機関、介護保険事業所等に配布
⑦認知症多職種協働研修	40名	・開催日：R7年7月18日（金）18：30～ ・開催場所：串間市総合保健福祉センター 2階研修室 【講演内容】 1) 認知症の理解～高次脳機能障害との違い～ 講師；県南病院 副院長 認知症疾患医療センター長 藤元 ますみ医師
⑧認知症フォーラム	75名	・開催日：R7年9月23日（火・祝） ・開催場所：道の駅くしま市民交流館 【講演内容】 1) 認知症を正しく理解しよう ～アルツハイマー型認知症について～ 講師；県南病院 佐々木 俊平医師 2) 家庭で出来る認知症予防の体操とレクリエーション 講師；県南病院 リハビリテーション科 3) 認知症地域支援推進員の取組み報告

6. 生活困窮者自立相談支援事業

平成27年4月から「生活困窮者自立支援制度」が全国的に実施。本事業は、個人へのアプローチのみならず、地域に対する働きかけを目標とした機能を担います。これにおいては、様々な生活課題について、制度の隙間なく必要な支援をコーディネートすることが必要とされます。また、地域に対する働きかけについても、関係機関や地域住民を含めた多様な社会資源の協力を得て生活困窮の早期把握や包括的な支援の提供を行うものとされます。

◆生活困窮者自立支援制度の紹介 ※本市の場合

- 自立相談支援事業【必須事業】…支援員が相談を受け、どのような支援が必要かを相談者と一緒に考え具体的な支援プランを作成し、自立に向けた支援を行います。
- 住宅確保給付金【必須事業】…離職などにより住居を失った方、または失う恐れの高い方には、就職に向けた活動をするなどを条件に、一定期間、家賃相当額を支給します。
※ただし、一定の資産収入等に関する要件を満たしている方が対象。
- 家計改善支援事業【任意事業】…相談者と共に多様な生活課題と向き合い、家計の状況を明らかにして相談者自身の家計を管理する力を高め、早期の生活再建を目指す。

i 職員配置状況

主任相談支援員	社会福祉士	1名	計2名
相談支援員	社会福祉主事	1名	

ii 事業実施状況

◎新規相談（件）

月	令和7年度【上半期】						計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
件数	4	5	5	5	4	5	28

月	令和7年度【下半期】						計
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
件数	10	4	7	6	3	7	37

新規相談者総数							65名
---------	--	--	--	--	--	--	-----

◎相談者の年齢層（人）

年齢	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～79歳	80歳～
人数	2	4	8	6	10	14	15	6

【新規相談のうち就労に関わる相談支援実施状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
件数	1	0	0	0	2	1	4

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	1	0	2	0	0	0	3

就労相談者総数						7名	一般就労者数	3名
---------	--	--	--	--	--	----	--------	----

※平成30年4月より業務を受託し、現在も見守りや助言等の支援が必要な件数

令和7年度末時点	継続的支援が必要と判断される件数
	64件

【住居確保給付金】

令和7年度	相談件数	支援決定件数
	0件	0件

【家計改善支援事業】

令和7年度	相談件数	支援決定件数
	1件	1件

- 学生服リユース事業…自宅で不要となった中学校、高校の制服等を社協で譲り受け、経済的な理由などにより、制服等を買いたくすることに困っている世帯へ無償で提供します。

	串間中	福島高校	日南振徳	うたのこ	その他	令和7年度実績
譲り受けた件数	2	2	0	4	0	8
提供した件数	6	0	0	1	0	7

7. 重層的支援体制整備移行準備事業（令和7年度～）

重層的支援体制整備事業は、地域住民が生活する上で抱える複雑化・複合化した課題（既存の制度の対象となりにくいケースや、8050、ひきこもりなど）に対応する為、市内全体の支援機関・地域の関係者が断らず受け止め、つながり続ける支援体制を構築し地域共生社会の実現に向けて取り組むことを目的とする。

本市において、令和8年度の「重層的支援体制整備事業」本格実施に向け、令和7年度より「重層的支援体制整備移行準備事業」を開始しており「多機関協働事業」を受託。

「アウトリーチ等を通じた継続的支援事業」「参加支援事業」「地域づくり事業」については令和8年度より本格実施予定。※一体的な事業運営が求められており、一部の事業を試験的に実施。

事業周知回数	事業周知の対象機関・団体
13回	●串間市民生委員児童委員協議会●庁内連携●集落支援員●崎田自治会
	●串間市ボランティア連絡協議会●地区社協会長会●自立支援協議会
	●市内支援事業所●地域福祉コーディネーター●在宅ケア研究会
	●ケアマネ連絡会●みやざき交流集会●社会福祉士会

●多機関協働事業

受け止めた相談の内、複雑化・複合化した事例について、課題の解きほぐしや関係機関の役割分担を図り、各支援機関が円滑な連携のもとで支援できる関係を構築する為のコーディネート機能を担う。

事例を取り扱う重層的支援会議（対象者の同意あり）、支援会議（対象者の同意なし）に加え、事業全体の進捗確認や地域課題の発掘、支援機関同士の関係構築を目的とした定例型多機関協働会議を年4回実施。

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
当月相談受付実数	1	0	0	1	0	0	延べ 2件
支援会議開催数	0	0	0	1	1	1	3回
重層的支援会議開催数	1	1	1	1	1	0	5回
定例型多機関協働会議	1	0	0	1	0	0	2回

実施月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計
当月相談受付実数	0	2	0	0	0	0	延べ 2件
支援会議開催数	1	1	0	0	0	0	2回
重層的支援会議開催数	0	0	1	0	1	1	3回
定例型多機関協働会議	1	0	0	0	1	0	2回

●参加支援事業

社会との関係性が希薄化しており、参加に向けた支援が必要な人に対して、本人のニーズと社会資源の間を調整する役割を担う。本事業の例として、道の駅くしまを拠点にコミュニティ食堂（Shakyo's Kitchen：社協キッチン）を第3木曜日に実施しており、多くボランティアの方や市内の企業、有志の方からの寄付等地域の協力を得ながら事業を展開中。

<コミュニティ食堂>

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期合計
参加者数	117	137	124	108	91	105	682

実施月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期合計
参加者数	85	100	100	70	67	70	492

●地域づくり事業

住民同士のケア・支え合う関係性を育むほか、他事業と相まって、地域における社会的孤立の発生、深刻化の防止を目指す。地域拠点、居場所づくりとして本城崎田地区に「どんべえ@ななしるーむ」を立ち上げ。世代を超えて交流できるスペースとして、気軽に立ち寄れる空間を目指す。

<どんべえ@ななしルーム：平日8：30～17：00まで開放>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期合計
イベント	1	2	1	2	1	0	7
集客数	30	55	54	73	48	29	289

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期合計
イベント	2	1	2	0	1	3	9
集客数	77	34	64	14	30	127	346

令和 7 年度

串間市地域包括支援センター

運営業務報告書

社会福祉法人串間市社会福祉協議会

令和7年度 串間市地域包括支援センター運営業務報告

1 総合相談事業(介護保険法第115条の45号第2項第1号)

(1) 地域住民や関係者への広報

- ① パンフレットの作成
- ② 情報誌への掲載

(2) 利用経路 2,601 件 (延人員)

来所	790	電話	1,109	書面	12	訪問	636	その他	54
----	-----	----	-------	----	----	----	-----	-----	----

(3) 相談者内訳 2,601 件 (延人員)

本人	929	家族(同居)	238	家族(別居)	435	近隣者	42	民生委員	110
行政機関	77	サービス事業所	41	介護支援専門員	125	医療機関	230	親戚	39
警察署	78	金融機関等	1	他相談支援事業所	47	商工関係等	3	匿名	2
家族(県外)	168	その他	36						

(4) 相談者内容内訳

内容	件数
見守り・安否確認等	395
困難事例対応	25
介護保険サービスについて	1,111
施設入所・退所に関すること	92
医療について	175
問題行動に関すること	46
免許返納に関すること	75
生活環境について	169
食について	68
認知症について	140
感染症影響	0
経済的なこと	63
虐待について	63
成年後見制度等について	49
消費者被害防止	2
金銭管理・死後の事務	33
介護支援専門員の支援	70
苦情に関すること	15
その他	10
総相談件数	2,601

(5) 関係機関とのネットワーク構築

① 串間市民生委員・児童委員各地区定例会

各地区民児協	開催日	備考
福島地区民児協	第2木曜日	地域の情報共有及び相談・周知啓発
北方地区民児協	第2水曜日	地域の情報共有及び相談・周知啓発
大東地区民児協	第2金曜日	地域の情報共有及び相談・周知啓発
本城地区民児協	第2水曜日	地域の情報共有及び相談・周知啓発
都井地区民児協	第2火曜日	地域の情報共有及び相談・周知啓発
市木地区民児協	第2火曜日	地域の情報共有及び相談・周知啓発

② 串間市介護事業所連絡会

串間市介護支援専門員連絡会	第3水曜日	17:45～	意見交換・情報の共有・在宅介護課題の整理等
---------------	-------	--------	-----------------------

③ 認知症初期集中支援チーム

認知症初期集中支援チーム定例会	第2木曜日	15:30～	意見交換会・情報の共有
-----------------	-------	--------	-------------

④ 訪問介護事業所意見交換会

令和7年10月23日に開催した。事前アンケートをもとに訪問介護事業所間での意見交換を行った。

⑤ 通所介護事業所意見連絡会

令和7年10月9日に開催した。事前アンケートをもとに通所介護事業所間での情報交換を行った。

また、令和7年12月17日に訪問系・通所系事業所向けに特定技能外国人労働者受け入れ説明会を開催した。

・連絡調整、情報の共有、同行訪問、ケース会議の開催などで以下の機関と連携を行い、支援体制を構築してきた。

民生委員等 99 件、認知症地域支援推進員 60件、日常生活自立支援事業専門員 9件、生活支援コーディネーター 12件、串間市生活相談支援センター 46件、認知症疾患医療センター 1件、認知症初期集中支援チーム 26件、他行政等 289件

○ 地域におけるネットワークの構築

・市内のサロン会(16ヶ所)、さわやか学級、郡元・口広いきいき元気教室、JA女性部にて合計233名の参加者に対し、地域包括支援センターの機能と役割、権利擁護、介護保険制度、高齢者虐待、消費者被害防止の周知啓発を行った。

・市内の「民生委員児童委員各地区定例会」等には出会(延べ66回)に努め、地域の気になる高齢者の情報共有を行った。また、小地域ネットワークカードの整備を199件行い、地域での要援護者への支援体制構築を図った。

○ 実態把握

・令和7年度の相談件数は、2,601件で訪問や電話等での実態把握は1,391件であった。そして実人数26名に対して、68回のケース会議等を開催し、支援の方向性などを協議した。

○ 相談業務

- ・令和7年度の相談件数は2,601件で、その内訳は来所790件、電話1,109件、書面12件、訪問636件、そのほか54件であった。
- ・認知症疾患等に関する相談は、延べ140件であり定期的に認知症初期集中支援チームとの意見交換会、個別の支援の協議、同行訪問等で連携した。
- ・福祉センター外での相談窓口として、1回/月のサテライト相談室を実施し、延べ8件の相談があった。
- ・ひなた運転健康教室後に、介護相談を実施した。

2 権利擁護事業(介護保険法第115条の45第2項第2号)

(1) 権利擁護に関する啓発

○市内のサロン会(16ヶ所・112名)、その他にJA女性部会総会56名、さわやか学級参加者65名に対して権利擁護の周知啓発を行う。加えて、毎月の民生委員児童委員各地区定例会等への出会(延べ66回)し、権利擁護・消費者被害防止の周知啓発を行った。また、宮崎県社会福祉協議会高齢者権利擁護支援センターの出前講座を活用し、参加者11名に対して、高齢者虐待(セルフネグレクト)防止の周知啓発を行った。

○日南串間成年後見ネットワーク協議会に年2回出席し、地域の成年後見制度の課題等の情報共有を図り、地域の事例の提出を行った。

(2) 高齢者虐待への対応(困難事例を含む)

○宮崎県社会福祉協議会高齢者権利擁護支援センターの出前講座を活用し、参加者11名に対して、高齢者虐待(セルフネグレクト)防止の周知啓発を行った。

○高齢者虐待が疑われる相談や情報提供が8件あり、串間市や関係機関と連携を図り、うち4件は高齢者虐待認定として対応した。

○困難事例については、実人数 26 名に対して、68回のケース会議等を開催して、支援の方向性等を協議してきた。

(3) 成年後見制度(任意後見契約及び委任代理契約、日常生活自立支援事業等を含む)

○日常生活自立支援事業担当者と相談者の情報を共有し、同行訪問等を行い、うち1名を同事業の利用に繋いだ。

○成年後見制度の申立てが必要だと思われる事例については、関係機関や民生委員等とも情報を共有し、障がい者基幹相談支援センターの申立て支援に3件つないだ。委任代理契約が必要と思われる事例については、公証役場に2件つないだ。

○成年後見制度の申立てが必要だと思われるが、本人に申立て能力がなく、支援できる親族がいなかったため行政に報告、虐待案件により早急に申立てが必要なケースも含めて2件市長申立てへつないだ。

(4) 消費者被害の防止

○消費生活トラブルの相談件数は2件あり、日南串間消費生活支援センターや警察署等とも連携を図り、対応した。

○市内のサロン会(16ヶ所・112名)、その他にJA女性部会総会56名、さわやか学級参加者65名に対して消費者被害の周知啓発を行う。加えて、毎月の民生委員児童委員各地区定例会等への出会(延べ66回)し、消費者被害の周知啓発を行った。

2 権利養護事業(介護保険第115条の45第2項第2号)

別添資料①

令和3年度 個別ケース会議及び情報共有会議の開催内容

※虐待及び虐待の疑い、困難ケースの対応に会議を行った。

No.	性別	年齢	期間	終結状況	虐待 (疑い 含む)	認知症	成年後 見制度 等利用 検討	その他	措置	情報提供者
1	女	70代	平成25年7月31日～		△					行政
2	女	80代	平成29年2月1日～			○				家族
3	女	70代	令和3年3月22日～			○				家族
4	男	90代	平成30年10月31日～		○					匿名
5	女	60代	令和2年9月14日～				○	統合失調症		警察
6	女	80代	令和2年9月9日～			○	○			行政
7	女	80代	平成30年9月25日～		△					デイサービス
8	男	80代	令和2年2月21日～					○		行政
9	男	60代	令和3年6月30日～		○					行政
10	男	90代	令和3年7月16日～					○		担当CM
11	女	90代	令和3年8月24日～					○ (困難)		病院
12	女	80代	平成30年10月19日～		○	○				担当CM
13	女	70代	令和3年6月11日～			○				本人
14	女	80代	平成29年7月20日～		○					担当CM
15	男	70代	令和元年9月26日～				○			行政
16	女	70代	令和2年9月29日～			○	○			行政
17	男	60代	令和3年8月5日～	○			○			行政
18	男	60代	令和3年10月25日～					家庭内暴力		家族
19	女	80代	令和3年2月22日～			○				近隣者
20	男	60代	令和3年10月18日～			○				民生委員
21	男	70代	令和4年2月21日～	○	○					警察
22	男	80代	令和3年10月13日～					家庭内暴力		警察
23	女	50代	令和元年11月25日～				○ (日自)			担当CM
24	女	70代	令和3年12月2日～	○			○ (日自)			家族
25	男	80代	令和3年10月21日～			○				居宅CM
26	女	80代	令和3年6月15日～		△					本人
27	女	80代	令和3年9月16日～					家庭内暴力		民生委員

3 包括的・継続的ケアマネジメント事業(介護保険法第115条の45第2項第3号)

(1) 包括的・継続的ケア体制の構築

①関係機関との連携

串間市介護支援専門員連絡会	毎月第3(水)	17:45～	情報交換・在宅介護課題等の整理
各地区民児協	各地区毎月開催	各地区毎に設定	地域の情報共有及び相談、周知啓発

②地域との連携

- ・毎月各民児協定例会にて要支援・要介護の高齢者等の情報共有を図ってきた。
- ・よかまち会議を開催し地域コミュニティ食堂開催のバックアップを図ってきた。
- ・よかまちフェスを2回開催し、地域の方との繋がり、地域の情報共有を行ってきた。
- ・金谷、黒井地区の防災に関する実態調査。上塩、鍛冶屋、仲町で防災訓練と個別ニーズ調査。
- ・本城地区にて災害時個別避難計画について情報共有。

③「地域ケア会議」の設置

- ・包括支援センター職員が担当している2名の利用者に対して延べ2回のケース会議を開催し、情報共有及び課題解決に向けての協議を行ってきた。

④地域課題への取り組み

ひなた運転健康教室(5地域で開催)

実施日	開催場所	開催地域	参加人数
R7年12月4日	串間市総合保健福祉センター	福島地区	11名
R8年1月20日	市木支所会議室	市木地区	9名
R8年1月29日	串間市農村環境改善センター	北方・大束地区	4名
R8年2月5日	都井地区コミュニティセンター	都井地区	18名
R8年3月5日	ごんべえ	本城地区	13名

⑤在宅ケアの支援

・家族介護教室

開催日時	開催場所	参加人数
R7年10月17日	道の駅くしま交流館多目的ホール	14名
R7年10月31日	串間市農村環境改善センター	13名
R7年11月21日	旧本城中学校	52名
R7年11月28日	都井地区コミュニティセンター	10名
R7年12月5日	市木支所	5名

(2) 介護支援専門員に対する支援

①介護支援専門員に対する個別支援

※年度別相談件数内容

	ケアマネジメント	社会資源紹介	主治医連携	包括内連携	対人援助技術	制度説明確認	研修・学習	個人の悩み	同行訪問	その他
R2年度(90件)	44	8	1	10	2	11	0	21	7	13
R3年度(69件)	27	1	1	7	8	25	0	10	8	6
R4年度(54件)	12	5	2	13	4	18	2	5	16	6
R5年度(93件)	35	14	9	5	13	24	2	17	23	12
R6年度(58件)	15	5	0	12	4	12	4	13	13	3
R7年度(72件)	11	6	2	20	5	34	0	12	9	12

②介護支援専門員に対する支援

・介護保険係職員・居宅支援事業所及び包括内主任介護支援専門員で構成したプラン点検委員4名で、市内居宅支援事業所とグループホームの介護支援専門員に対してケアプラン点検を実施した。介護支援専門員全員のアセスメント力標準化が図れるようプラン点検から見たケアマネジメントの課題を個別にフィードバックした。またグループホームの介護支援専門員に対しては集団面談を実施し意見交換を行った。

③介護保険制度に関する啓発活動

・福島・本城・都井地区のサロン会(迫)(上塩)(寺里)(崎田)(鹿谷)(本町1丁目)(上千野)(上平)(宮原)(西小路)(立宇津)(下千野)(道場)(下平)(中園)(東町)
合計16ヶ所112名に説明する。その他にJA女性部会総会56名、さわやか学級参加者65名に対して介護保険について説明する。

(3) 事例検討会・研修会等による支援

事例検討会・研修会

実施日	研修名
R7年10月20日～R7年11月4日	居宅介護支援事業所ケアプラン点検
R7年9月17日、R7年11月26日	串間市介護支援専門員連絡定例会での事例検討会
R7年12月17日	特定技能外国人労働者受け入れ説明会
R7年12月18日	グループホームケアプラン点検
毎月介護保険請求後	介護予防ケアマネジメント研修
毎月第1, 3火曜日	自立支援型地域ケア会議(介護予防ケアマネジメント事例検討; 介護保険係主催)

4 指定介護予防事業及び第一号介護予防支援事業実績
(法第8条の2第16項及び法第115条の45第1項第1号二)

介護予防ケアプランのモニタリングと効果の評価

区 分	事業対象者		要支援1・2		令和7年度合計		令和6年度合計	
	件数	率	件数	率	件数	率	件数	率
改 善	9	3.50%	0	0.00%	9	2.80%	7	2.50%
維 持	165	65.00%	48	68.60%	213	65.70%	198	69.40%
悪 化	68	26.80%	22	31.40%	90	27.80%	73	25.60%
終 了	12	4.70%	0	0.00%	12	3.70%	7	2.50%
合 計	254	100.00%	70	100.00%	324	100.00%	285	100.00%

※改善(介護認定結果の改善、介護サービス利用量の減少、改善に伴うサービス利用終了)

※維持(介護認定結果の維持、介護サービス利用量の維持)

※悪化(介護認定結果の悪化、介護サービス利用量の増加) ※終了(転居、施設入所、死去)

介護予防マネジメントに基づくケアプラン提出件数

区 分	令和7年度		令和6年度		令和5年度	
	回数	件数	回数	件数	回数	件数
	9	218	13	242	13	218

医療機関との連携を行った件数(入院・退院時のコンセンサスルールブックに基づき実施)

区 分	令和7年度	令和6年度	令和5年度
入院時	55	70	70
退院時	45	47	48

介護予防及び日常生活自立支援総合事業ケアマネジメント給付管理件数

区 分	総合事業		介護予防		令和7年度合計		令和6年度合計	
	件数	率	件数	率	件数	率	件数	率
新 規	43	3.00%	44	4.80%	87	3.80%	91	4.00%
継 続	1,345	97.00%	866	95.20%	2,211	96.20%	2,207	96.00%
合 計	1,388	100.00%	910	100.00%	2,298	100.00%	2,298	100.00%

配食サービス・住宅改修のみのケアマネジメント給付管理件数

区 分	事業対象者	要支援1・2	要介護1～5	令和7年度合計
配食サービス	2	0	0	2
住宅改修	0	13	8	21
合 計	2	13	8	23

福祉用具購入のみの支援件数	4
介護予防支援事業勉強会回数	7
ケアプラン点検(ブラッシュアップ)	73